



# ご復活おめでとうございます

大西勇史助祭

ご復活おめでとうございます。

そんな心躍るごあいさつが出来ること嬉しく思います。また、17 名の新受洗者の皆さま洗礼おめでとうございます。

私事で恐縮ですが、入門講座を担当した 4 名それぞれの旅路を思うと、「本当に良かったなあ」と、今でもこみ上げてくるものがあります。人生の痛みと恐れ、闇の底で必死に祈った日々を知っていますし、だからこそ、新しいいのちの世界に無事に生まれ出たこと本当に嬉しく思います。

しかし、実はその痛みや恐れを一番知っているのは神ご自身ですし、それ故に一番喜んでいられるのも神ご自身なのです。そのことをこの喜びの中で強く思います。そしてその事実にあらぎをおぼえます。

私が言うまでもないですが、新受洗者 17 名の受洗は皆さまや講座担当者、代父母の方々のみならず、幟町教会共同体全体の喜びです。それはちょうど、かわいい赤ちゃんの誕生が家族全体を明るく照らしてくれるのに似ています。すでに洗礼を受けている方にとってもよちよち歩きの新受洗者たちは「わたしにもこんな頃があったのよねえきっと」と自らの信仰の歩みを振り返るきっかけとなるでしょう。そうして互いに照らし合い、成長し合える家族となれますよう心からお祈り致します。また、弱い私のためにも祈ってください。

いつも励みにしているパパ様の言葉を紹介して終わりにします。

教皇フランシスコ、使徒的勧告「福音の喜び」より

「小さな一歩であってもイエスに向かって歩み出すならば、イエスが両手を広げてその到着を待っていることに気がつくでしょう。」

「つねに神は、倦むことなくわたしたちをゆるしてください。かえってわたしたちのほうが、神のいづくしみを求めるのにうんざりしてしまうのです。」

「イエスの復活から離れないようにしましょう。決して負けを認めてはなりません。どんなことがあってもです。わたしたちをいつも前進させるイエスのいのちより大切なものはないのです。」

ご復活の喜びの中であって、それでも辛い思いをされている方に少しでも届きますように。

アメリカ人ジャーナリスト  
ジョン・ハーシー氏の孫



## キャノンさんが聖堂訪問

飯國 清

1946年5月にアメリカ人ジャーナリストのジョン・ハーシーが、3週間に渡り原爆被害の取材に来広し、アメリカの週刊誌「ニュー Yorker」に発表した「ヒロシマ」がアメリカのみならず、世界に初めて広島



してベストセラーになったそうです。

取材に協力されたのは、幟町教会で被曝された4人のドイツ人神父の一人クラインゾルゲ神父(日本名:高倉神父)さんで、流川教会の

谷本清牧師や佐々木とし子(高倉神父から洗礼を受け、神父の勧めで

援助修道会のシスターとなる)さんなど「ヒロシマ」に登場する大半の方を紹介されたようです。

被爆70周年の今年、おじいさんの足跡を尋ねてアーツ

トのキャノン・ハーシーさんが3月8日のミサに列席されました。ミサ後、クラインゾルゲ神父とシスター佐々木をよく知っているシスター八木橋と服部さんがキャノンさんからインタビューを受け、1時間以上思い出話をされていました。

翌日には、晩年クラインゾルゲ神父が原爆症を抱えながら司牧をされた向原教会に行かれ、信徒の小野さんからクラインゾルゲ神父の生きざまを取材されました。

この様子は、近々ドキュメンタリー映画として発表される予定です。

## 卒業おめでとう

教会学校で小・中学校、高等学校を卒業し、新たな出発に臨む子どもたち。応援よろしくお願いします。

高校は、部活にそそぐ3年間でした。そのため、あまり教会に来れない時期もありましたが…笑  
大学は隣なので、なるべく来てみんなと楽しいことが沢山出来たらいいなと思います😊  
これからも、よろしくお祈りします！  
(NM)

中学校の勉強や部活も楽しみだけど、教会学校の中学生会も楽しみにしています。みんなで協力していろいろな活動をしてみたいです。(HN)

学校は嫌いだったはずなのに、卒業したら寂しくて、やっぱり楽しかったなって思います！高校生は、不安なことがいっぱいあるけど早くになりたいです。勉強、がんばりたいと思います(笑)  
教会に行く回数は増えると思うので、これからもよろしくお祈りします!(KM)

中学生になったら、お兄ちゃん、お姉ちゃんみたいに、小さい子や、小学生の人達のめんどうを見たり、侍者のお仕事も頑張りたいです。鐘を鳴らすのもまだ下手くそですが、一生懸命するので、これからもヨロシクお願いします。  
(DN)

来年もできるだけ教会活動に参加しようと思っています。これからも温かく見守ってください。(YK)

あきらめ一瞬、後悔一生  
(JS)

ぼくはもっと神様のことを考える高校生になりたいと思います。  
(KY)

高校でもがんばる  
(OS)

# 受洗おめでとうございます

4月4日・5日、主の御復活にあずかり、17人が受洗され、私たちの新しい家族となりました。おめでとうございます。

神様の導きに従い、共に歩んでいきましょう。



## 編集後記

【招かれたのは？】

枝の主日の前日、今年も有志で枝の準備をしました。不揃いの枝も多くありましたが、イエス様が「いろいろな人を招かれた」ことを思い起こすと、どの枝も愛おしく、選別から外すのを躊躇ってしまいました。

(の)

